

## 岩槻史跡めぐりの ご案内

1. 岩槻駅前 みみずく土偶  
(10:00~10:05) 岩槻の真福寺貝塚から出土し、日本で最初の重要文化財になった土偶ののコピーが駅前にあります。本物は上野の国立博物館にありますので、是非ご覧ください。縄文時代後期の作と言われています。
2. 愛宕神社  
(10:15~10:25) 現在の社殿は大正12年の関東大震災で全壊した為、その後再建されたものです。神社本殿の右側には大きな絵馬があり、昭和初期まであった大風の絵があり、当時を知る貴重な財産です。また社殿は岩槻城の大構の上にあり、富士浅間神社と共に残された貴重なものです。
3. 浄安寺 (10:35~10:50) 浄土宗のお寺ですが、1505年までは真言宗でした。山門は「槍返し」の門と言われ、8代将軍吉宗の日光参詣の際に行列が槍を先頭に田中口木戸門にさしかかった時、槍を立てたまま通過出来ず、屋根を壊す様命じられたが、藩主が「槍を返して(倒して)お通りください」という日くのある門で、後に浄安寺に移築されました。境内には 児玉南可や岩槻城主 高力清長、家康の孫の徳松丸及び忠輝の側室の墓もある。
4. 時の鐘 (10:55~11:05) 1671年(寛文12年)岩槻城主 阿部正春の命で作成されました。後にひびが入り、1720年に改鑄し、現在にいたります。埼玉県内の時の鐘では一番古く、しかも江戸時代から 朝晩の時を切らさず告げているのは 岩槻のみであり、誇りに思えます。鐘の位置はお城と武家屋敷、町人の真中の境にあり、何処にも聞こえる様になっています。なお、平成13年までは鐘を手で突いていましたが、現在は自動になり、朝晩とお昼の3回聞くことが出来ます。
5. 遷喬館 (11:15~11:30) 児玉南可が1799年(寛政11年)に文武両道を子供に教える為に設立しました。当初は町人の子もいたが、後に藩校となり、武士の子弟のみとなりました。現在の建物は平成18年解体復元され、一般公開となっています。
6. 鈴木酒造 (11:35~11:55) 1871年(明治4年)に日本酒の蔵元酒蔵として創業しました。日光東照宮の造営にあたった匠たちが見いだした名水にほれ込み、伝統を守り、大切に作る風土の中で、岩槻にて昔ながらの手作りの良さを生かし、山田錦などを精米し、高品質な日本酒「万両」「大手門」等を製造している。ギャラリー・資料館もあり、勝海舟の書いた屏風がある。
7. 昼食(ふな又)  
(12:00~13:00)  
食後解散 三宅邦子さんの実家であり、戦後の小津安二郎 監督の作品に良く出演されていました。  
江戸時代 天保年間(180年代)創業の老舗で 昔は浦和から 鰻の調理の修行に ふな又まで来たと言われていています。
8. 東玉 人形博物館  
(13:10~13:40)  
\*オプション\* 江戸時代より城下町、宿場町として栄えた岩槻は人形作りに適した桐と水に恵まれ、現在人形の生産高日本一を誇る街に東玉は発展しました。  
江戸末期、岩槻城主の御殿医、戸塚隆軒は、医業のかたわら人形作りを趣味としており、その作品の一つを城主に献上したときに「東玉」の名をもらい、現在まで6代目です。